

成田市公共施設白書



はじめに



本市では、成田国際空港の開港以降の都市化と人口増加に対応できるよう、都市基盤整備を進めるとともに、小中学校などの教育施設に加え、スポーツ、文化、生涯学習など、その時々ニーズに沿った活動の拠点となる多様な施設を整備してまいりました。

一方、本年5月で空港開港から35周年を迎える中、開港に合わせて整備した施設の中には老朽化が進み、大規模改修や再整備が必要とされる施設も多く見受けられるようになったことから、施設更新に必要とされる経費やその後の維持管理経費の財政負担についても考えていかなければなりません。

また、少子高齢化の進行に伴い、子育て支援や高齢化対策といった施策のより一層の充実が求められているなど、市民ニーズも高度化・多様化してきており、時代とともに変化する社会需要に対応できるよう将来を見据えた施設の改修・整備も必要となっております。

このような状況を踏まえ、市民の共有財産である公共施設の現状について、配置状況や利用状況、管理運営コストなど様々な視点からの分析や更新・改修の将来コストの試算などを行い、市が所有する施設の現状や将来に向けての課題を整理した「成田市公共施設白書」を作成いたしました。

公共施設の管理と効率的な運用は、本市においても重要な施策の一つであり、本書が、市民の皆様にとりまして、公共施設について考えていただく契機となれば幸いです。

平成 25 年 3 月

成田市長 小泉一成

はじめに

第1章 市勢状況等の把握

1. 市の概要

(1) 市の概要	1
(2) 市の沿革	2
(3) 空港関連による特色	4
(4) 開発動向	5
①宅地開発	
②工業団地	

2. 市の人口特性

(1) 人口及び世帯数の推移	9
(2) 高齢化率と年齢階層別人口推計	10
(3) 高齢者数の推計	10
(4) 世代別人口推移及び推計	11

3. 流出入人口等の把握及び転出入人口の把握

(1) 流出入人口の把握	12
(2) 転出入人口の把握	13

4. 地区特性の把握のまとめ

(1) 地区別、階層別の人口変化の状況	14
(2) 10地区ごとの特性の把握	16

5. 大まかな把握及び課題の抽出

第2章 保有する財産の状況及び資産の有効活用の必要性

1. 歳入・歳出の状況

(1) 歳入の状況	30
(2) 歳出の状況	32

2. 職員数及び人件費の推移

3. 投資的経費の状況

(1) 投資的経費の推移	34
(2) 今後の投資的経費の見込み	35

4. 合併に伴う財政支援

5. 起債発行額の推移

6. 保有する公共施設の状況

(1) 土地の用途別内訳	37
(2) 建物の用途別内訳	37
(3) 市が保有する施設の築年別整備状況	38

7. 公共施設の将来における更新費用推計

8. 資産の有効活用の必要性	43
第3章 用途別実態把握	
1. コスト情報とストック情報の的確な把握	44
2. 公共施設の建物総合評価	45
3. 主な公共施設の配置状況	47
4. 主な施設の実態把握	
(1) 公民館	49
(2) 市所有集会施設①	71
(3) 集会施設②	84
(4) その他集会施設	99
(5) 小学校・中学校	119
(6) 保育園・幼稚園	135
(7) 子ども館	154
(8) 児童ホーム	162
(9) 行政窓口	173
(10) 図書館	182
(11) 文化施設等	197
(12) 博物館等施設	207
(13) スポーツ施設	216
(14) 共生プラザ	237
(15) 生涯大学校	242
(16) 保健・福祉施設	248
(17) 診療施設	264
(18) 観光施設	268
(19) 産業施設	277
(20) 市営住宅	282
(21) 斎場施設等	289
(22) 行政系施設	293
(23) 教育関連施設	297
(24) 供給処理施設	301
(25) その他公共施設	307
第4章 エリアごとの行政施設を通じた行政サービスの実態	
1. エリア別実態把握	311
成田・公津・ニュータウン地域	314
中郷・久住・八生・豊住地域	316
遠山地域	318
下総地域	320
大栄地域	322

第5章 今後の公共施設のあり方

1. 課題等のまとめ -----	324
2. これからの施設管理のあり方（施設管理から公共施設マネジメントへ） -----	325
3. 今後の取組み -----	326

※1 本白書では、推移を除いて「平成23年度」データを基本に調査を行っています。

※2 本白書では、次のような端数処理をしています。

- ・ 文章中の合計数値は、「億円」「万円」で記載しているため、グラフ等の数値と一致しないことがあります。「約」を付けずに標記している場合があります。
- ・ 図及び表のデータ数値は、端数処理をしているため、合計と一致しない場合があります。

